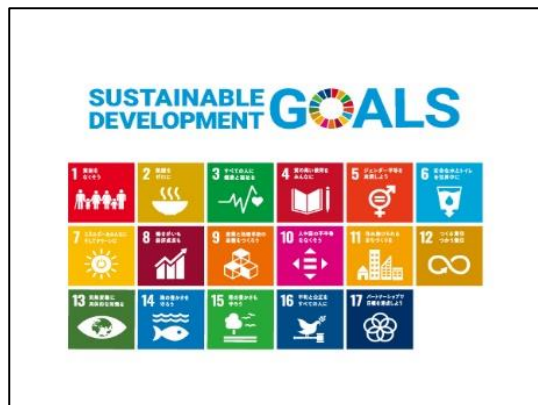


SDGsをテーマとする明星高等学校との連携事業について

1 連携事業実施の背景

市では、令和4年度から令和11年度までを計画期間とする第7次府中市総合計画を策定し、同計画の中で、まちづくりの各施策と持続可能で多様性と包摂性のある社会をめざすSDGsの17のゴールとの関係性を明らかにしました。これにより、市職員が今一度SDGsに対する理解を深める必要があることから、SDGs推進校を宣言する明星中学校・高等学校との協働による、SDGsをテーマとする連携事業を開始いたしました。

なお、本連携事業は、令和4年3月に同学校と「地域活性化に関する協働協定」を締結したことに基づき実施するものです。



2 実施内容

(1) 第1回 令和4年6月29日（水）

市職員がSDGsについての理解を深めることを目的に、同学校の高校3年生がこれまで総合の授業の一環で行ってきた、SDGsをテーマとする取組について、各グループから発表いただきました。発表の内容は、ジェンダー平等をテーマとした制服改定への関わりや、ペットボトル削減に向けたマイボトルの作製、落ち葉の堆肥化への取組など、多岐にわたる内容となっております。

【発表の様子】



(2) 第2回 令和4年7月20日(水)

第1回の内容をもとに生徒と市職員とがSDGsについてさらに理解を深めるため、ワークショップを実施しました。テーマごとにグループをつくり、SDGsを自分事として捉えられるようなワークや、SDGsの達成に寄与する取組のアイデア出しなど、生徒と市職員とが意見交換を行いました。

第1回は高校3年生のみの参加でしたが、第2回では事業の連続性を視野に、高校1年生及び2年生の生徒にも参加いただきました。

【ワークショップの様子】



(3) 第3回 令和4年11月16日(水)

第1回及び第2回の取組をとおして協働により得られたことを踏まえ、その後、市役所で実現可能な取組について、職員のためのグループで各テーマに基づき検討を進めました。そして、第3回では、その検討結果を生徒に報告いたしました。

【報告テーマ】

- ・府中市の魅力を感じてもらえるふるさと納税
- ・ジェンダー平等の推進のための環境づくり
- ・市内の自動販売機から始めるペットボトルリサイクルの推進
- ・脱！行政用語「やさしい日本語」を活用したわかりやすい案内物の作成
- ・未来の地球のために 教育×SDGs 啓発活動
- ・落ち葉の堆肥化とその活用

【報告の様子】



3 今後について

総合計画に基づく各施策を着実に推進するとともに、SDGsの達成のためには一人ひとりの行動、様々な主体との連携による取組が不可欠です。

第3回で行った報告では、次年度以降も同学校と協働で取り組んでいきたい内容の提案も含まれており、よりよい府中市への実現に向け、引き続き連携事業をとおしてSDGsの達成に寄与してまいります。